

朝ごはん

◎朝食の大切さを伝える取組み

家庭科の授業では、今朝何を食べたかを児童に聞き、その朝食にどんな栄養素があるかを皆で確認しています。このような取組みを通じて、栄養素を学びながら、朝食の大切さも知ってもらっています。

◎栄養教諭・養護教諭と連携した取組み

各学年に応じた食育に取り組んでいます。

たとえば、2年生では栄養教諭と連携して、生活の授業でプチトマトを栽培し、収穫したトマトを使ってジャム作りをしました。作ったジャムは給食のパンにつけて試食しました。

また、3年生では養護教諭と連携して、保健の授業で生活リズムについての学習をしています。事前に学年全員にアンケートを取り、朝食を含めた生活リズムの大切さを教えています。



朝のあいさつ

◎地域と連携したあいさつ運動

毎朝、教職員が校門に立って、登校してくる児童に向けて朝のあいさつを呼びかけていますが、月初めの一週間には地域の方々にも毎回3~10人ずつ、朝のあいさつ運動に参加していただいています。

この取組みは、10年以上も前から続いていることもあり、低学年から元気よくあいさつをする姿が見られ、高学年になるにつれてあいさつの大切さをよく理解してあいさつするようになります。

今回、児童会と生活委員会が協同で「ひろげようあいさつの輪活動」で朝のあいさつ活動を行いました。これからもあいさつの輪をもっと拡げていきます。

月	PTA
火	民生児童委員
水	こども会
木	青少年指導員 防犯委員
金	地区福祉会



朝の読書

◎読書習慣をつける取組み

毎週水曜日に朝読書の時間を設けています。

また、各クラス、週1時間ずつ、図書館を優先して使える時間を設定して、学習課題に即した本を読んだり、調べ学習をしたり、読み語りを味わったりしています。本は、一週間に3冊まで貸し出せるようにしています。

◎出会いの100冊

今年度、「なかしやう先生のオススメの本“出会いの100冊”」の取組みがはじまりました。各学年でどんな本を読んだらいいのか、本のレベルを1~10にわけ、レベルごとに10冊の本を紹介しています。図書館の前には、すすめた先生が作った本の手書きPOPが掲示されています。身近な先生がすすめていることもあって“出会いの100冊”は人気が高くたくさんの貸出しがあります。

このような取組みもあり、子どもたちの読書習慣が身につけてきました。



先生のオススメ

